

庄内に常設の展示場はできないか 伝統こけし展ギャラリートーク

温海の伝統こけし工人である阿部進矢さんの米寿を記念して、こけし展が6月7日から22日まで、東田川文化記念館ギャラリー藤で開催されました。

6月14日のギャラリートークでは、石黒清一氏（藤島下町）と、栗野省二氏（山形市長谷堂）が語りました。



温海の初代のこけし工人は阿部常松（1868〜1926）で、その次男の常吉（1904〜1991）が後を継いで、その長男の進矢さんが3代目。庄内では、伝統こけし工人が温海の阿部進矢さんだけとなり、令和6年に、進矢さんの甥の津田隆さんが後継者として修業を始めました。

ここには、歴史を語るこけしもあります。昭和26年4月24日に温海温泉で294戸の住居が焼失する大火があり、阿部家も焼けた

が、焼失を免れたこけしがあります。

そのこけしの底には、「愛しき子 我にだかれて 大火の日」と歌が綴られています。



貴重なこけしとしては、進矢さんの妻の千代世さんが昭和42年に描彩し、東京こけし会で頒布された作品があります。



後継者の津田隆さんが、現在制作している作品も展示されました。



栗野省二氏は、山形大学農業学部を卒業し、県職員となって農業改良普及員・研究員の仕事に従事。県内各地を回り、蝶々の採集もし

ていたの、山間地に行けば「こけし」とも出会い、収集を重ねてきた話がありました。こけし関係の貴重な書籍も多く集められ、持参し展示しました。栗野省二氏は、『さくらんぼ君の観察絵日記』（文芸社2020/2/15）の絵本も出版されています。



こけしに情熱を

参加者からの意見では、「東北には鳴子こけし館など多くあるが、山形県内にはない。山形市の七日町にあった伝統こけし館（1500体展示）が、2017年3月に閉館された。庄内に常設の展示場はできないか」とありました。

石黒氏は「こけしに情熱を持っている人がいないと実現できない」と述べ、庄内の伝統こけし文化を継承する重要性を語りました。

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

歌集「のうぜんかずら」

心血を注がれ、特に短歌の指導をされていた。質実剛健の方でスポーツも熱心であったし、西郷南州翁の解説もしていた。

私たちの地区・八栄島は、俳聖芭蕉が「奥の細道」行脚以来、俳句や短歌が盛んになり、数多くの連句や短歌が残されている。

2年後鶴岡市第二中学校長に栄転された。

歌集「半纏木」（はんてんぼく）を出版されたが、出版を待つかのように黄泉の旅に発たれた。

日向富さんが、先生の遺志を継いで、埋もれている作品を掘り起こし、歌集「のうぜんかずら」（凌霄花）としたのである。

ある方にとっては、興味深いものもある。

手向村の出で芭蕉に弟子入りした呂丸（ろがん）の高弟・土田竹童（藤島・下町出身）がおり、その高弟であった海藤竹風は、八色木の海藤徳右衛門家生まれであった。

のうぜんかずらは、八栄島小学校の校章で、真っ赤な花が真夏の空に向いて咲き誇るたけなしい花である。

竹風は、近郷の歌人を集めて吟詠している。その思想が八栄島地区に文人を生み出しているのではないか。

発刊に当たって、当時の公民館長鈴木重雄と、藤島図書館長阿部公彦が寄稿している。

昭和44年（1969）、鈴木正治先生（松山町生まれ）が、八栄島小学校長として赴任され、校務の傍ら社会教育に

昭和47年（1972）以降の会員27人の中から、順次掲載したい。

昭和44年（1969）、鈴木正治先生（松山町生まれ）が、八栄島小学校長として赴任され、校務の傍ら社会教育に

昭和47年（1972）以降の会員27人の中から、順次掲載したい。

昭和47年（1972）以降の会員27人の中から、順次掲載したい。

昭和47年（1972）以降の会員27人の中から、順次掲載したい。

昭和47年（1972）以降の会員27人の中から、順次掲載したい。

墓碑に刻まれた短歌

むらさきの煙にまごふ野に分けて

心わびしく吾は逝くなり 小鷹武治

桜花嵐に散りて日の本能

護団の霊となるぞうれし幾 斎藤四郎

鈴木正治先生遺作短歌

少年が白鳥を呼び川に撒ける茶殻の匂い風運び来る 鈴木正治

第1回例会詠草（昭和44・12・17）

賀状書く手もそぞろなりもの思い今年は如何に君過ごさむや 石川重雄
老眼鏡は未だ早しと言ひつつも眉をしかめて新聞を見る 石川鍊太郎

藤島詩吟愛好会歌

藤島詩吟愛好会歌

城貞(藤の花)

坐久閑謡九重歌
清声浩浩響如波
吟朋共学窮斯道
承継流風意気多

坐久しくして閑かに謡う九重の歌
清声 浩浩として響 波の如し
吟朋 共に学んで斯道を窮める
流風を承継して意気多し

しばらくの時間にわたり座って、上品で風雅にみやびやかに九重のうたを吟じる。
吟じるその声は、きよらかでおおらかで、まるで押し寄せる波のようである。
吟朋の皆さんは、先生といっしょに学んで吟の道を窮める
そのうえさらに先人の残した美風を受け継ぎ、意気込み盛んである。

詩吟とは？

What is "SHIGIN" ?

詩吟とは、漢詩をうたうこと。
うたうことを“吟ずる”という。

詩吟独特の調子、リズムで
声を長く引いて詩をうたうということ。

山形県内の無料で遊べる屋内遊戯施設

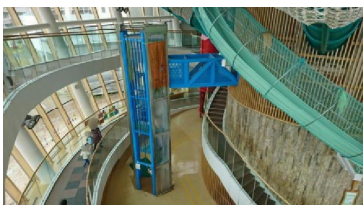
天童市「げんキッズ」



東根市「さくらんぼタウントルセンター」



東根市「けやきホール」



山形市「ベドゥーのひろば」



長井市「ヴェルント」



山形市「コパル」



シエルターなんようホール(南陽市文化会館)



三川町「テオトル」



新庄市「わらす」広場

※有料100円



県内には、無料で遊べる大型の屋内遊戯施設が多くあります。

しかし、鶴岡市にある「キッズドームソライ」は、利用料金が3歳以上1500円と、少し高いのが難点。

そこで、市は保護者に利用料を補助する予算を3月議会に提案しましたが、「民間企業に補助はダメ」「ソライの経営に疑問がある」と、1人差で否決されました。

市がソライの利用料に関与して、無料化を実現すべきです。

きびちよ



納得しないが

トランプ大統領は2月に政府職員の大幅削減を打ち出し、数千人が解雇されたという。

一方でコロナなど感染症対策をおこなう米疾病対策センター(CDC)は、トランプ政権で解雇された約450人を復職させているとの報道も12日あった。

▲あちらの国では、給料は週給だと聞いたことがあるが、彼から「明日から来るな」と言われたれば数日分しかお金がない事になり、暮らしは困るだろうと。

▲そんな時には頼りになるのが労働組合なのだが、そんな報道はない。全国的な職員減らしだから、黙ってはいないだろうけど。

▲日本の労働基準法では、「明日から来るな」には、2月分の給料を付けて通告しなければならぬと覚えている

県内には、無料で遊べる大型の屋内遊戯施設が多くあります。

しかし、鶴岡市にある「キッズドームソライ」は、利用料金が3歳以上1500円と、少し高いのが難点。

そこで、市は保護者に利用料を補助する予算を3月議会に提案しましたが、「民間企業に補助はダメ」「ソライの経営に疑問がある」と、1人差で否決されました。

市がソライの利用料に関与して、無料化を実現すべきです。

んだが、今はどうなっているんでしょうか。

▲俺も1回、「明日から来るな」と言われたことがあるんだ。それは役場にお世話になった年の秋だから60年も前で、助役さんからだ。

▲あの年は、町民運動会が雨で3回も流れて、いよいよ明日は大丈夫という日。その準備も出来て、「明日はあるよ」と車で町内を一周すると言った。これに同乗を断ったんだが、「部落の名前を覚えるのも仕事だよ」に納得した。

▲いよいよ終点に近づいた新町通り、酒に酔った助役さんを拾ったんだ。そしたら、後でゴゲッたと言ったよ。俺が車に乗っている事を。初めて入った町の車にアンチャコが乗ったのが悪いんだと。助役に謝って係長が言うんだ。納得しないが「すみませんでした」に、ナンだか小言があつて終わりでしたが・・・。(石川)